



Main calendar table with columns for sowing, planting, harvest, and maturity. Includes sub-tables for water management, main work, and pest control.

※農薬を使用する際は、周辺作物等への飛散（ドリフト）に充分注意してください！！

※気候条件によって前後する場合があります。

白未熟粒(シラタ)軽減対策

白未熟粒の発生は、出穂後20日間の平均気温が27℃を超えると急激に増加する。また、発生要因は高温だけでなく、水や日照時間、施肥量不足などの複合的な要因も考えられている。

上記のように作付け時期を遅らせる、もしくは作付け時期の遅い品種に変更することが白未熟粒を軽減させる対策としてはもっとも有効と考えられるが、現状では困難であるため、下記の方法を白未熟粒軽減対策として推奨する。

●土づくり

ケイカル・農力アップなどの土壌改良資材を収穫後に散布し、根張り良くしっかりとした稲を作り、倒伏や病害虫を発生しにくくし収量・食味を向上させる。

●早期落水の防止

早期に落水する事より土壌水分が低下して、株が枯れ、白未熟粒が発生しやすくなるので収穫7日前までは落水せず、土壌水分を維持させる。

●白未熟粒軽減資材の活用

数年前より、県の農業研究機関にて試験を行なった白未熟粒軽減資材（下記参照）を施用する事により軽減させる（但し、気象条件等により効果に差があります）。

施肥設計

◎コシヒカリ元肥一発（10a）白未熟粒軽減資材

Table for fertilizer application: 田植10日前～田植時, エムコート022, 35～40kg

Table for fertilizer application: 田植10日前～田植時, セラコートR822, 40kg前後

◎コシヒカリ分施肥培養肥料（10a）

Table for fertilizer application: 田植10日前～田植時, 水稻元肥化成284, 25～35kg; 追肥第1回目, NK化成7号, 10～20kg; 追肥第2回目, NK化成7号, 10～20kg; 追肥第3回目, NK化成7号, 5～10kg

◎その他の品種元肥一発（10a）

Table for fertilizer application: あきたこまち, エムコート489 (早生用), 40～50kg; みえのゆめ, セラコートR2500 (中晩生用), 45～55kg

◎品質・登熟向上資材（10a）

Table for fertilizer application: 品質向上, けい酸加里, 20～40kg, 出穂前45～35日まで; 登熟向上, FTEミネラス, 3～6kg, 出穂前35～25日まで

効果 1.活力ある根が張り、稲体を強化し倒伏に強くなります。 2.登熟が高まるとともに粒張りが良くなり、食味向上に役立ちます。

育苗

◎種子の準備 毎年種子更新しましょう。

Table for seed selection: うるち米 (1.13の塩水), もち米 (1.06の塩水)

◎種子消毒

Table for seed disinfection: 作業温度・日数, 要点, 24時間, 10℃では...

(注) テクリードCフロアブルは使用前に容器をよく振ってから使用して下さい。廃液は河川水路に流さないでください。

◎育苗箱消毒 イチバン500～1000倍液に箱をさっと漬ける

◎培土 箱入れ後、乾かさないよう注意しましょう。(1箱当たり約3～4kg必要)

◎病害防除

Table for pest control: 農薬名, 時期, 1箱当り施用量, 備考

◎播種 厚播きは苗質を悪くする。催芽粉1.5～1.8合とする。均一に播く。土の表面の水が引いてから播種する。覆土は粉がかかされる程度

◎育苗管理

Table for seedling management: 作業温度・日数, 要点, 出芽, 緑化, 硬化的

土づくり 土づくりは品質向上への第一歩です。

- (1)有機物の施用 堆肥を連年施用する(年内施用) 1～2トン... (2)深耕 耕作層を深くする(15～20cm)...

除草

除草剤の使用時期表と正しい使い方。表には田植前後の除草剤種類と時期が示されています。

※ムレ苗防止 健苗育成にフジワ粒!!

※品質向上には、毎年種子更新と土づくりをしましょう!!

※稲ワラの流出防止のため収穫後早期に耕起しましょう!!

防除日誌

Table for recording pest control activities: 使用月日(天候), 使用薬剤名, 倍率・量, 全使用量, 使用目的

作業日誌

Table for recording work activities: 作業月日, 圃場, 作業内容, 備考